

## ■欧州：デザーテック、計画を前倒しで2012年に発電所建設を開始

2011年10月29日付ドイツ紙の報道によれば、北アフリカと中東地域に太陽熱などの再生エネルギー発電設備を建設して欧州に電力を供給するデザーテックプロジェクトが実現に向けていよいよ動き出す。同プロジェクトを統括するミュンヘン再保険によれば、最初の発電所として計画されている案件は、モロッコの発電容量50万kW（敷地面積12km<sup>2</sup>）の太陽熱発電所で、建設予算は20億ユーロ（約2,140億円）、2012年初旬に採用技術や立地場所などの具体案を策定後、建設に着手し、2～4年後の運転開始を目指すという。まずは、第1期工事として約6億ユーロ（約640億円）を投じて15万kWの発電設備を建設する計画。プロジェクトを推進するDesertec Industrial Initiative（DII）は設立当初、発電所の建設開始は早くても2015年になるとの見通しを示していたが、モロッコ、チュニジア、アルジェリア、エジプトなどの北アフリカ諸国が再生エネルギー利用に大きな関心を示していることに加え、リビアの内戦の終結で政情安定への期待が高まったことが計画を早める追い風となったと同紙は伝えている。